

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

学校法人 松原学園

1. 法人の概要

- ① 名称：学校法人 松原学園（昭和44年1月10日法人設立）
- ② 住所等：大阪府松原市阿保3-16-41
電話番号・ファックス 072-332-1648
ホームページ <http://matsubara-hikari.net>
メールアドレス info@matsubara-hikari.net
- ③ 設置する学校：松原ひかり幼稚園 定員330名 実員390名（3月1日現在）
- ④ 理事長名：菊井 智明（理事6人 評議員13人 監事2人）
- ⑤ 教職員の状況（令和5年度末時点）：教職員22人 パート保育士25人 保育補助6人
看護師1人 事務員1人 運転手3人（委託）
栄養士1人（委託） 調理員6人（委託）
ガードマン5人（委託）

2. 事業の概要（令和5年度 松原ひかり幼稚園の概要）

① 教育方針

幼稚園はひとりひとり違った環境で育った子どもたちが集まる小さな社会であり、そこでは個性の違う多くの仲間や保育者に出会う。様々な共同体験を通してそれぞれの違いを認め合い関わりながら、豊かな感性、表現、行動力を身につけるよう、保育素材、カリキュラムの研鑽に全力を尽くしている。のびのびと活発に園生活を展開する中にもしっかりと生活習慣を確立し、ルールを守り、静かに話を聞く態度、自信を持って自分の考えを伝える力を培っている。

② 学年 定員、実員、学級数（令和6年3月1日現在）

<乳児 3号>

年度	1歳児		2歳児		計
	学級数	人数	学級数	人数	
利用定員	1	12	1	18	30
R.5実員	1	17	1	24	41

<幼児 1号2号>

年度	満3歳児/3歳児		4歳児		5歳児		計
	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	
利用定員	4	92名	4	103名	4	105名	300名
R.5実員	5	149名	4	107名	3	93名	349名

③ 保育時間：月～土 午前7時30分～午後6時30分（月～金 延長19時まで）

教育時間：月～金 午前9時～午後2時50分

完全給食保育料及び諸経費

・保育料は市町村の決定したものに従う。

（給食費、母の会費・教育充実費・教材費・冷暖房費・バス代・行事費は別途徴収）

④ 入園時の費用（1号2号入園時）

- ・入園準備金： 50,000 円
- ・施設設備費： 10,000 円
- ・入園検定料： 2,000 円
- （3号入園時： 32,000 円 年少進級時： 30,000 円）

⑤ 預かり保育

- ・月～金 午前7時30分から9時30分までと午後2時から午後6時30分まで（延長7時まで）
- ・春休み、夏休み、冬休み 午前7時30分～午後6時30分（延長7時まで）
- ・土曜日預かり 2号3号両親とも就労の場合のみ 午前7時30分～18時30分（延長なし）
- ・一時預かり保育の受け入れ（月～土）一日8時間を上限として 随時利用
- ・未就園児定期預かり保育 月7回

⑥ 行事の実施

- 4月： 入園式、預かり保育、身体測定
- 5月： 遠足、健康診断
- 6月： 参観、プール遊び開始
- 7月： 七夕音楽会、個人懇談会、園内1泊保育、夏期午前保育、預かり保育
- 8月： 夏休み、夏休み預かり保育、夏祭り、夏期午前保育
- 9月： 始業式
- 10月： 運動会、遠足
- 11月： 移動動物園、参観
- 12月： 作品展、クリスマス会、冬休み、冬休み預かり保育
- 1月： 始業式、音楽会
- 2月： 節分豆まき、観劇、クッキング、サッカー大会
- 3月： 劇発表会、卒園式、春休み、預かり保育

3. 財務の概要

財務状況は ここ数年は健全経営のため黒字である。

<令和5年度の取り組み>

1. 今年度も分散参観、分散入園式、分散作品展など、昨年度に引き続き一部の行事を分散形式で行った。コロナ感染が収まったので2月におやつクッキングを再開した。
2. 幼保小連携プログラムの一環として、松原北小学校と連携し、3年生、5年生と当園年長組が互いに訪問しあい、交流した。
3. コロナ感染予防対策として、引き続き毎日の清掃消毒、子どもたちへの手洗い指導、うがい、保育室の換気、登園時と昼間の検温、さらに、園舎共有スペースやバスの消毒業務を週2回業者に依頼した。
4. コロナ感染拡大予防のための日々の消毒清掃により廊下や保育室のフローリングが傷んできたため、2階保育室3部屋の床改修工事を行った。
5. 遊戯室のある園舎の外壁補強塗装工事を行った。
6. 園庭の桜の木が害虫にむしばまれたため、後援会の支援を受け、新しい大苗木を植え替えた。
7. 子育て支援として、保護者の情報交換、悩み相談の場として、保育士による子育てサロン『ドラルーム』を定期的に関き、保護者同士の交流や情報交換の場を提供した。